



試作中の発電機で点灯した復興の願いが込められたランタン=七尾市・和倉温泉で

復興願うランタンの光

和倉温泉 総湯前広場でイルミ

富山県高岡市の環境ベンチャー「アルハイテック」が17日、七尾市の和倉温泉総湯前の広場で、アルミ廃棄物から水素を取り出して発電する試作中の小型装置を使って、復興の願いを込めたランタンのイルミネーションを点灯させた。淡い光で被災した温泉街を照らした。

使用した装置は「エ小僧 SMART(スマート)」。装置に廃アルミと反応液を入れてボタンを押すだけで発電され、複数のスマートフォンを充電できる。公民館や避難所に設置し、災害時の非常用電源として利用してもらうことを想定している。

イルミネーションイベントは、被災地での試験運用や利用者からの声を聞き取って改良するために実施した。この日、地域住民や総湯の利用者らが集まり、牛乳パックを使ってランタンを制作。「和倉復興」や「地震を乗り越えよう」などのメッセージも添えた。企業の担当者が装置の仕組みや活動を説明し、午後6時半ごろ、ランタンに入った発

光ダイオード(LED)を
一斉に点灯させた。
装置は今後も能登各地で
試験運用され、12月ごろの
完成を目指す。完成品は被
災自治体に寄贈する予定。
(染谷明良)